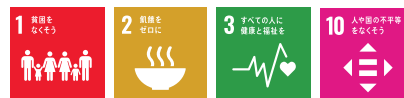


Abiko City

基本目標 2

**誰もが健康で
自分らしく
ともに暮らせる
まちづくり**
(健康福祉)



2-1 地域福祉の推進

人と人がつながり、地域の人みんなで助け合い支え合う環境づくりを進めます。

施策の展開内容

子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会（※1）を目指し、地区の特色を活かしながら、自助・互助・共助・公助（※2）といったそれぞれの役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。

（※1）地域共生社会

地域で暮らすすべての人が、生活の楽しみや生きがいを持ち、さまざまな困難を抱えた場合でも、社会から孤立せず、支え合いながら安心してその人らしい生活を送ることができる社会のこと。

（※2）自助・互助・共助・公助

自助…自立した生活を送るための自発的な取組

互助…地域に住む人が協力しあう日常的な活動

共助…相互の費用負担で成り立つ社会保障制度

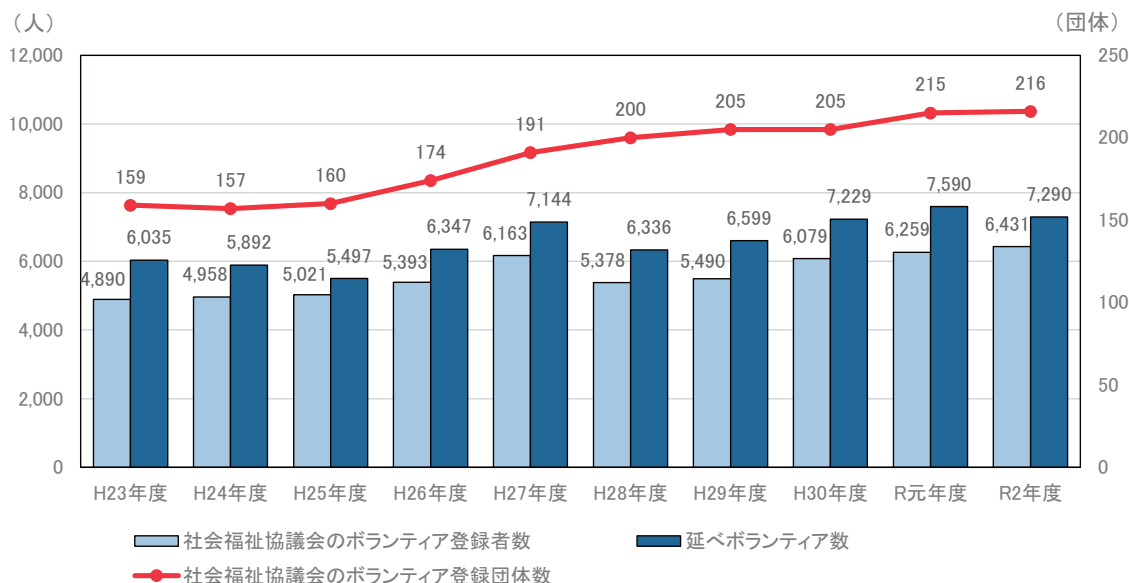
公助…自助・互助・共助では対応できない状況に対して、行政が責任を持って提供する公的福祉サービス

現状と課題

- 家族内や地域において助け合いのつながりが薄れており、また、単身世帯や核家族世帯の増加により、孤立してしまうリスクが高まっています。地域住民の福祉に対する考え方を深め、地域で支え合う福祉を充実させるため、障害の有無や年齢、性別などに関わらず、すべての人が住み慣れた地域や家庭で、ともに生きるという考え方を前提とした社会をつくる必要があります。
- 福祉施策の展開には、地域に精通する民生委員・児童委員の協力が必要ですが、地域によっては、担い手が少ないことから、欠員地区が生じています。欠員地区を解消するために関係機関と協力し、定員を確保していく必要があります。
- 社会や地域とのつながりが薄れることで、孤立する高齢者や障害者が増えています。高齢者や障害者が社会参加しやすくなるよう、外出を支援していく必要があります。
- 手術時の輸血や白血病の治療に必要となる、輸血用血液や骨髄ドナー登録者が不足しています。定期的な献血の機会の提供や、骨髄ドナー登録者の増加を図る必要があります。
- 市内の社会福祉法人がさまざまな福祉サービスを提供しています。社会福祉法人が適正な運営を図れるよう、的確な指導監査を行う必要があります。
- 高齢者や障害者の増加により、成年後見制度の利用を必要とする人の増加が見込まれます。成年後見制度の周知を進め、利用しやすくする必要があります。



社会福祉協議会のボランティア数



主な取組

人と人のつながりや支え合いの推進体制の充実

- 障害の有無や年齢、性別に関わらず、すべての市民が地域でともに支え合う意識の啓発や自治会・まちづくり協議会などとの連携を強化し、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指します。
- 高齢者や障害者が孤立することのないよう、外出や移動がしやすい環境を整備します。
- 自宅で誰にも気づかれずに亡くなり、死後発見される「孤立死」を防ぐため、市内外のライフライン事業者や配送事業者、福祉事業者と連携し、孤立した状態で生活困窮に陥っている市民をいち早く発見し支援します。
- 認知症や障害の状態にともない判断能力が低下し、生活に支障が生じている人が尊厳を持って生活できるよう、成年後見制度活用に対する支援を実施します。
- ごみを集積所まで出すことが困難で、他に協力が得られないひとり暮らしの高齢者や障害者に対し、声掛けを行いながらごみを戸別収集することで生活を支援します。
- 血液の安定供給に寄与するため、日本赤十字社の献血事業を支援します。
- 骨髄移植の登録者と提供者を増やすための取組を支援します。
- 福祉サービスを提供する社会福祉法人に対し、運営状況や会計管理状況などについて、指導監査をよりの確に実施していきます。



施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
民生委員定員充足割合	89.7% (R1)	100%	
社会福祉協議会のボランティア登録者数	6,431 人 (R2)	8,800 人	
孤立死の件数	2 件 (R2)	0 件	

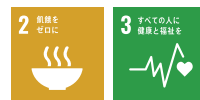
施策の満足度・不満度に関する指標

【地域で支え合う福祉の充実】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 70.6%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）	29.0%	49.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	11.0%	8.2% 以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	10.7%	
	湖北地区	12.7%	
	新木地区	8.3%	
	布佐地区	13.8%	





2-2 健康づくりの推進

誰もが心身ともに健康でいきいきと暮らすことができる環境づくりを進めます。

施策の展開内容

健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。

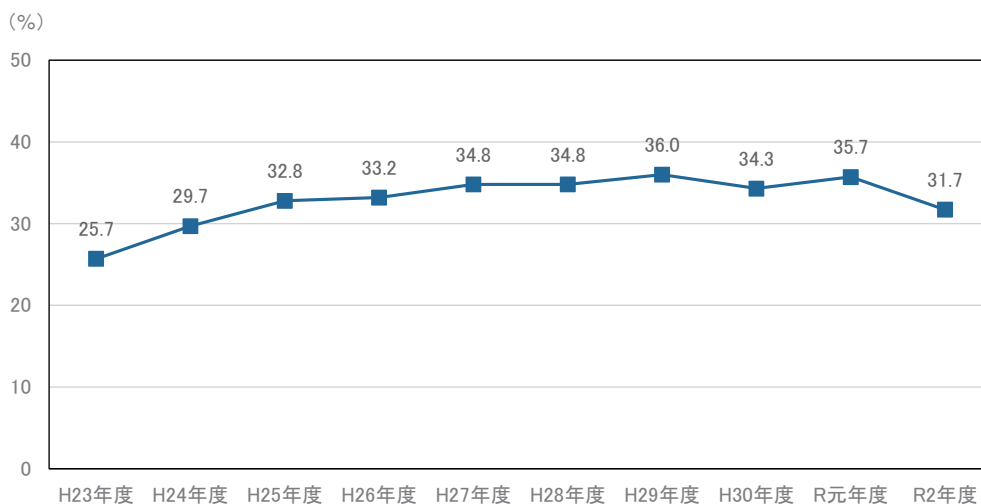
また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。

現状と課題

- 生涯を通して健康で自立した生活を送ることは、すべての人の願いであり、平均寿命の延伸以上に健康寿命を延ばしていくことが、個人の生活の質の向上や社会的負担の軽減につながります。健康寿命を延ばすためには、生活習慣を改善し生活習慣病を予防する一次予防に重点を置いた健康づくりを推進していく必要があります。
- 生活習慣病には、重症化するまで症状が表れず医療機関受診につながりにくいという傾向があります。生活習慣病のリスクがある人に初期段階で介入する重症化予防対策に取り組んでいく必要があります。
- 「良いコミュニティ」がある地域は健康な方が多いと言われていますが、地域における人と人とのつながりは弱まっています。個人での取組に加え、自治体や企業、市民団体など地域ぐるみで健康づくりに取り組んでいく必要があります。
- 医療は、市民が地域で安心して暮らすうえで欠かせません。休日・夜間の急病時にも医療を受けられる体制が求められています。
- 軽度な病気でも大学病院などの高度医療実施機関を受診している傾向にあります。かかりつけ医を持つことの有効性についての周知、症状の軽い人は休日や夜間診療を利用しないなど、救急医療利用の適正化に向けた啓発活動を行う必要があります。
- 感染症は現在でも世界における主要な死亡原因であり、新たな感染症の発生は、健康被害とそれにとまなう社会経済的ダメージが懸念されます。予防接種や検診などの感染症予防対策を進めていく必要があります。



特定健康診査の受診率



H23年度 H24年度 H25年度 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 R元年度 R2年度

主な取組

市民の自主的な健康づくりの推進

- 市民の健康寿命の延伸を目指して、生活習慣の改善や生活習慣病の発生を予防する一次予防に重点を置き、健康や食育、歯と口腔の健康づくりに関するさまざまな取組を総合的かつ計画的に進めます。
- 各種健（検）診時や健康啓発事業などの開催、生活習慣を改善するための情報提供を通じて、市民の自主的な健康づくりを支援していきます。
- 特定健康診査やがん検診、脳ドックなどの生活習慣病予防対策に取り組むとともに、その重要性をPRし、受診率の向上を図ります。
- 生活習慣病のリスクがある人に保健指導や受診勧奨を行うなど、重症化予防対策に取り組めます。
- 市民や事業者、関係機関と連携して地域ぐるみで啓発イベントを開催するなど健康づくりの推進を図ります。

地域医療体制の充実

- 休日でも初期的な医療を受けられるよう、関係機関と連携して休日診療所を運営します。
- 小児救急医療を含めた救急医療サービスをいつでも受けられるよう、かかりつけ医などの身近な医療から高度な最先端技術を提供する医療、広域的な医療連携を含めて医療体制を維持していきます。
- かかりつけ医を持つことの有効性についての周知、症状の軽い人は休日や夜間診療を利用しないなど、救急医療利用の適正化に向けた啓発活動を行っていきます。



感染症対策

- 感染症にかかることやかかった際の重症化を防ぐため、予防対策への啓発を行うとともに、予防接種や結核・肺がん検診などについての情報提供を行い、接種率、受診率の向上を図ります。
- 新たな感染症が発生した際には、予防接種の有効性が期待されることから、予防接種体制の構築に努めます。

施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
特定健康診査の受診率	31.7% (R2)	60.0% (R5)	目標値は第3期特定健康診査等実施計画に基づく（第3期はR5まで）
特定保健指導の実施率（終了率）	40.1% (R2)	60.0% (R5)	目標値は第3期特定健康診査等実施計画に基づく（第3期はR5まで）
がん検診の受診率	6.2% (R2)	15.2%	40歳から69歳 （子宮頸がん検診：20歳から69歳）
救急搬送者の市内医療機関収容率	98.5% (R2)	90%以上を維持	救急隊員が市内医療機関にて処置等対応可能と判断した傷病者の収容率



施策の満足度・不満度に関する指標

【保健サービスの充実】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 86.4%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		63.7%	64.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	6.0%	4.8% 以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	8.7%		
	湖北地区	4.9%		
	新木地区	7.2%		
	布佐地区	7.0%		

【医療体制の整備・充実】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 88.6%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		52.0%	62.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	16.3%	14.2% 以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	16.3%		
	湖北地区	14.3%		
	新木地区	16.5%		
	布佐地区	20.7%		



2-3 高齢者福祉の推進

高齢者が生きがいを持ち、住み慣れたまちで自分らしくいきいきと生活できる環境づくりを進めます。

施策の展開内容

高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。

また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステム（※1）を充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

（※1）地域包括ケアシステム

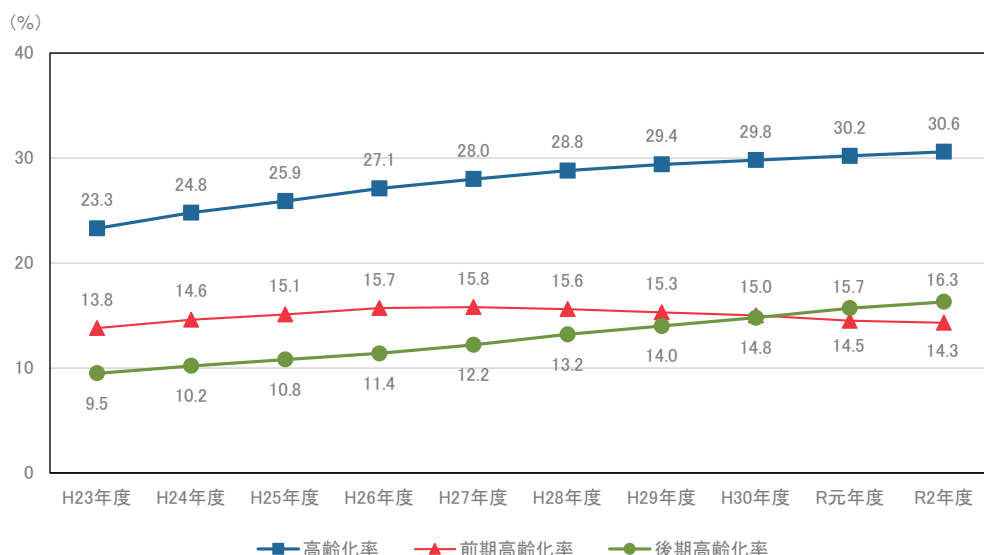
要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組みのこと。

現状と課題

- 地域コミュニティの希薄化が進むとともに、ひとり暮らしの高齢者が増えています。高齢者が地域と関わりながら、生きがいを持って健康に暮らせる環境を整えていく必要があります。
- 高齢者人口の増加にともない、要介護認定者、認知症高齢者の一層の増加が見込まれています。地域共生社会の構築を見据え、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自立した日常生活を送ることができるよう、限りある社会資源を効率的かつ効果的に活用しながら、医療、介護、予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」をさらに推進していく必要があります。
- 団塊の世代が後期高齢者となることで、介護ニーズが急速に高まり、介護サービスの担い手や施設の不足が見込まれます。介護を必要とする方が適切なサービスを受けられるよう、介護サービスを充実させる必要があります。



高齢化率



主な取組

健康でいきいきと生活できる環境づくり

- 高齢者が生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう、地域で住民同士が交流できる場や健康づくりに参加できる環境を整えるとともに、就労機会の確保に努めます。
- 高齢者が介護予防の必要性を理解し、身近な地域で自ら介護予防に取り組むことができる環境を整えるとともに、適切なサービスなどにつなぐことで疾病予防・重症化予防を推進します。

地域包括ケアシステムの充実

- 高齢者やその家族からの相談に対して、関係機関と連携しながら課題解決に向けた支援を実施します。
- 高齢者の意思を尊重した最適なサービスが利用できるよう、介護サービス計画に係る情報の共有とケアマネジャーの資質の向上を図ります。
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、市民団体や福祉サービス事業所など、あらゆる主体と協力しながら、身近な場所で必要な生活支援サービスを利用できる環境をつくります。
- 認知症高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症の早期発見、早期支援を行うとともに、認知症を正しく理解し、認知症高齢者とその家族を地域で支える取組を進めます。
- 在宅での生活が困難な高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためのサービスを提供する社会福祉施設の整備を進めます。
- 高齢者の状態に応じて、適切な施設に入所できるよう支援します。



施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
要支援・要介護認定率	16.3% (R2)	18.2%以下	
きらめきデイサービスの利用者数	1,340人 (R1)	1,500人	延べ人数（月平均）
認知症サポーター養成者数	12,526人 (R2)	19,800人	延べ人数
高齢者なんでも相談室への相談件数	27,937件 (R2)	35,000件	連絡・調整などの対応を含む

施策の満足度・不満足に関する指標

【高齢者支援】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 78.9%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）	37.7%	55.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	10.2%	8.2% 以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	8.5%	
	湖北地区	14.3%	
	新木地区	8.3%	
	布佐地区	10.5%	





2-4 障害者福祉の推進

障害のあるすべての人の個性が尊重され、自分らしく安心して暮らせる環境づくりを進めます。

施策の展開内容

障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。

現状と課題

- 本市では、障害者手帳を所持している人が年々増加しており、市に寄せられる相談内容が多様化・複雑化しています。障害のある人の重度・高齢化、家族関係、経済的な負担、近隣問題、虐待などの複合的な相談支援を、医療機関、警察などの関係機関と連携し、個々のケースに応じて専門的に対応していくことが求められています。
- 障害に対する社会の理解はいまだ十分な状況ではなく、障害のある人は、社会参加が難しく、生活しづらい環境にあります。障害のある人が安心して生活できるよう、地域共生社会の実現が求められています。

主な取組

障害福祉サービスに関する相談・支援の実施

- 障害のある人やその家族などからの相談に対し、専門的・総合的に対応するとともに、障害・子ども・高齢・医療などの関係機関と連携し、支援していきます。
- 障害のある人やその家族などが安心して暮らせるよう、経済的な負担を軽減する支援を行います。

障害者の社会参加・自立支援

- 日常生活上の支援が必要な障害のある人に対し、食事や排せつなどの介護を行うとともに、軽作業などの生産活動や創作活動の機会を提供していきます。
- 障害に対する理解を深めるために、ボランティアなどの受け入れや地域住民との交流を推進します。
- 地域の公共施設やサービス提供機関、市民団体などと連携を図り、障害のある人が自立できるよう、日常生活訓練や運動機能訓練を行います。
- 障害のある人がイベントなどに参加できるよう支援し、障害に対する理解を深めます。



施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
在宅福祉サービスの延べ利用者数	2,482 人 (R2)	2,875 人	
日中活動の場・住まいの場の延べ利用者数	10,164 人 (R2)	14,352 人	療養介護、生活介護、施設入所、共同生活援助、自立訓練（宿泊・機能・生活）、就労移行支援・就労継続支援（A・B）の実績件数

施策の満足度・不満足に関する指標

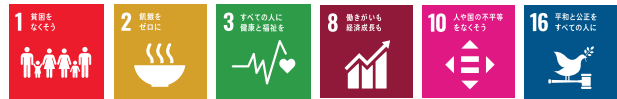
【障害者支援】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 76.4%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）	36.4%	54.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	7.0%	6.9% 以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	8.0%	
	湖北地区	9.9%	
	新木地区	8.2%	
	布佐地区	9.3%	



2-5 生活支援の推進



社会保障制度が理解され、医療や生活保障を必要な人が受けられる体制づくりを進めます。

施策の展開内容

年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。

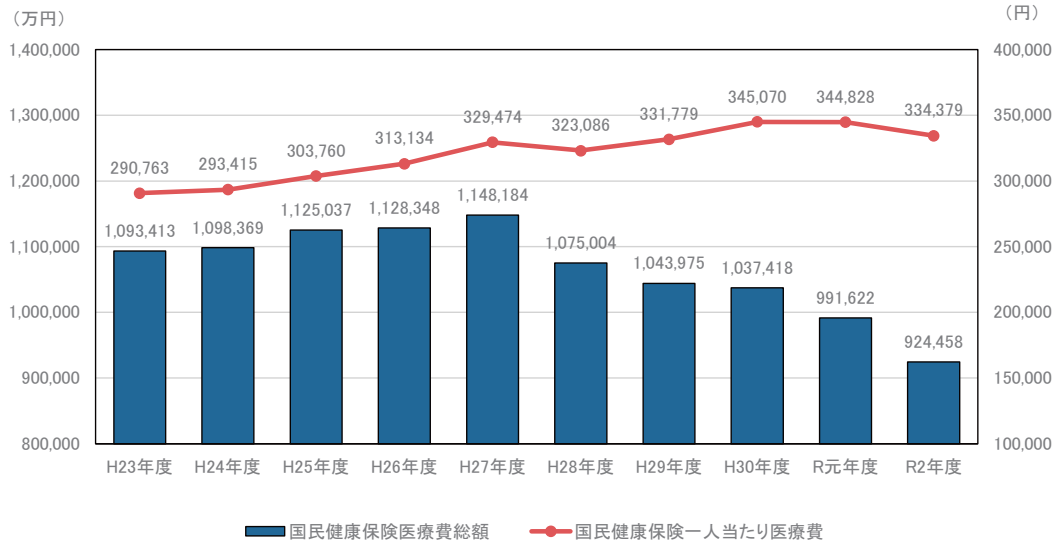
生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。

現状と課題

- 市民からの生活・福祉に関する相談内容は、高齢、障害、家庭環境など、多岐に渡っています。適切な支援につなぐことができるよう、相談体制の充実を図る必要があります。
- 生活保護受給者や生活困窮者が増加しています。生活保護制度の適正な運用を図るとともに、生活困窮者の経済的な自立を促進する取組や日常生活の支援を充実することが求められています。
- 介護保険制度では、高齢化の進行などにより要支援・要介護者が増え、介護サービス利用者の一層の増加が見込まれます。今後も、適正かつ円滑な制度運営が求められています。
- 国民健康保険制度では、加入者の構成において高齢者が多いことなどから医療費水準が高い傾向であることに加え、加入者数の減少などにもとない1世帯あたりの国民健康保険税の負担が増大しています。被保険者の理解を得ながら、制度を安定的に運営していく必要があります。
- 後期高齢者医療制度では、団塊の世代が75歳以上になる令和7（2025）年には一層の医療費の増加が見込まれています。被保険者の理解を得ながら、制度を安定的に運営していく必要があります。
- 国民年金制度では、国の未加入者対策の強化により国民年金未加入者の割合が減少する一方、経済状況や年金制度に対する不信感から保険料の未納といった問題が発生しています。制度について丁寧な説明を行っていくと同時に、保険料の納付率を向上させ、制度の長期的な安定を図る必要があります。

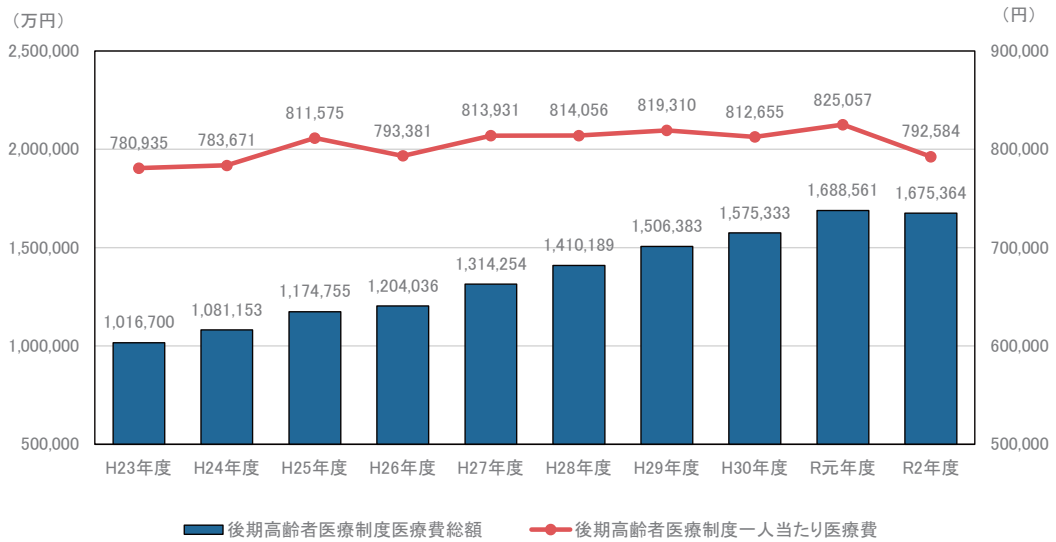


国民健康保険医療費総額及び一人当たり医療費



基本目標 2

後期高齢者医療制度医療費総額及び一人当たり医療費



主な取組

社会保障制度の適正な運営

- 介護を必要とする人に適切なサービスを提供できるよう、要支援・要介護者の状態に合わせた認定とサービスの質の向上に努めます。
- 介護保険制度を健全に運営するため、納付方法の多様化により利便性を向上させるとともに、保険料の収納率向上を図ります。
- 国民健康保険制度を健全に運営するため、国民健康保険税率や負担割合などについて、被保険者に対して丁寧な説明と正確な情報提供を行っていくとともに、国民健康保険税の収納率向上を図ります。
- 後期高齢者医療制度を健全に運営するため、保険料や負担割合などについて、被保険者に対して丁寧な説明と正確な情報提供を行っていくとともに、保険料の収納率向上を図ります。
- 国民年金制度の長期的な安定を図るため、制度内容の周知や窓口相談体制の充実に努め、制度への加入の促進と保険料の納付率向上を図ります。

生活・福祉に関する総合的な相談・支援の実施

- 生活保護制度を適正に運用し、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、日常生活の支援と経済的な自立を促進します。
- さまざまな要因から生活に困窮している人の経済的な自立を促進するため、関係機関と連携し、相談から自立までの継続的な支援に取り組みます。
- 多様化する相談内容に対応し、適切な支援を提供できるよう、福祉関係団体をはじめ弁護士会やハローワークなどの関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。

施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
被保護者就労支援事業による就職率	42.9% (R2)	67.0%	支援対象は生活保護受給者、児童扶養手当受給者、住居確保給付金受給者、生活困窮者
介護保険料収納率	99.4% (R2)	99.5%	現年度分のみ
国民健康保険税収納率	93.6% (R2)	94.2%	現年度分のみ
後期高齢者医療収納率	99.7% (R2)	99.8%	現年度分のみ
国民年金保険料納付率	76.8% (R2)	77.0%	現年度分のみ

